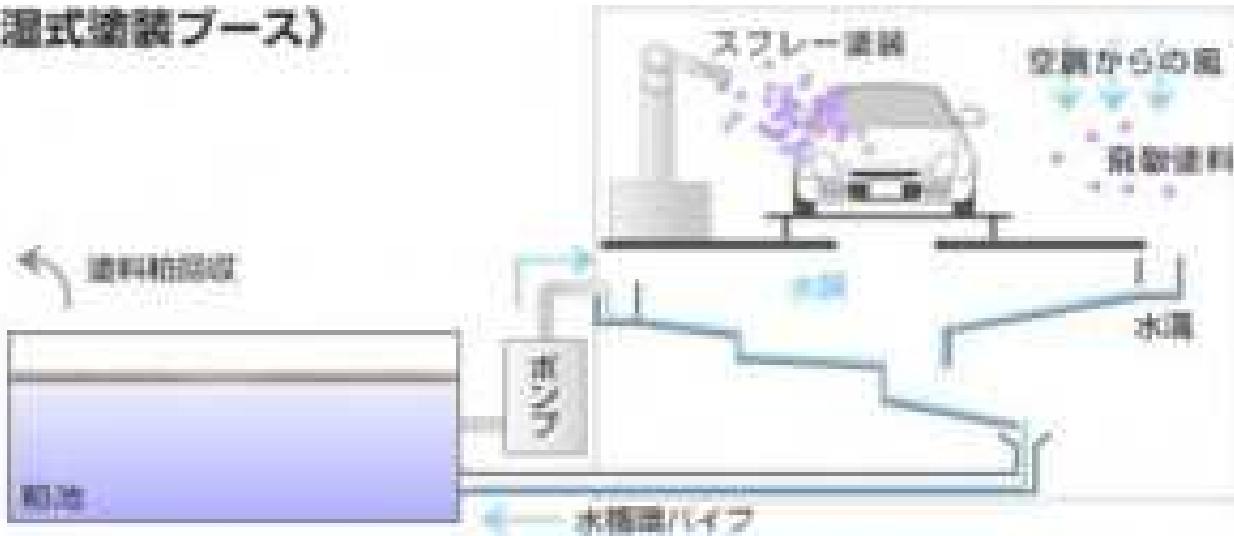


# 塗料カスの分離方法現状の問題点と改善

## 現状の塗料カス回収の流れ

### (湿式塗装ブース)



従来はキラー剤投入:コスト〇百万円/年

注)キラー剤機能

- ① 不粘着化
- ② 浮上/沈降/分散
- ③ pH 管理
- ④ 消泡 など。

今回、キラー剤を使わずに、塗料カスを効果的に分離するため、マイクロバブルに取り組む。

## 導入結果

- ・ ファインバブル「YJノズル」による、塗料カスの浮上、不粘着化、無臭化に成功。
- ・ キラー剤投入無しで、無薬注化に成功。
- ・ ファインバブルポンプ詰まり等、不具合は特になし。

## 改善の流れ

キラー剤なしで、綺麗な水が循環している。塗料カスの浮上にも成功。



仕切りのあとのブースの循環水ポンプ側にも、塗料カスが浮上してしまった。



邪魔板を設置(仕切りまでの時間拡大, 且つ, ミリバブルの量を増やした)ポンプ側の水も綺麗になった。



ドラム缶に回収した塗料カスは、無臭化及び不粘着化されている。

